

川崎市議会議員 いわくま ちひろ 南部学校給食センター竣工

民進みらい
川崎市議団
連載No.96

長年、市議会全体から求めていた中学校給食事業の中核となる南部学校給食センターがついに竣工しました。

9月より完全給食が実施となります。高津区にお住まいの中学生への配送対象校は、橘・東高津・宮崎・向丘中学校です。また、中部・北部学校給食センターについては、12月より順次開始される予定となっております（高津

・西高津中学校）。

この間、市議会にて施設建設における安全性の担保や運営方法、食の安心安全、食育など、他都市の先進事例や民間企業のノウハウなど全国を飛び回り政策調査活動を積み上げてきました。食育における株式会社タニタとの



川崎市議会
議員 いわくま ちひろ

●昭和50年生まれ 42歳 ●英国国立ウェールズ大学卒業 ロンドン大学大学院研究生 専門は国際政治学 ●国際派議員として、子どもから大人まで英語学とキャリア教育を教える。毎週日曜日は、イ・ト・ヨー・カド一溝口店前で市政報告を継続中！（10年9カ月）



連携など議会にて提案し実現したところではあります。紆余曲折はありますが、タイムリなスケジュールの中でここまで

こぎつけた教育委員会のみなさんのご尽力には感謝です。

先日の施設内の見学の際には、懸念すべき点も見受けられましたが、市は茶碗とおかずのお皿は強化陶器を用いていますが、それらの重量が重く感じられましたが、生徒さんたちは、限られた時間内で準備から後片付けまでしなければいけません。その際、あの重量が大丈夫なのかという点です。



南部学校給食センターだけで総工費154億円、これからのランニングコストは年間23億円かかります。現時点では、日本でも最大級の給食センターです。ハコモノだけ作って安堵ではダメです。前述した点など質の高いものになるように今後も議論して参ります。